

2 上寺町地区の石造物

1) 調査の概要

今回の分布調査は詳細地形測量図作成のための草木の刈り払いとテラスの造成状況などの地形観察を行うとともに絵図・文書等の記録に記された寺及び墓域の位置・範囲の確定を主な目的として調査を行った。石造物については埋没・半埋没しているものも少なからず存在しているが、調査期間の制約もあり、すべてについて清掃・精査を行う事は困難であり、地表面で顕著に確認できるもののみの把握にとどまっている。そのため個々の石造物についての石材・寸法・銘文など詳細な調査・記録を行うに至っていない。

今回、現地で確認することができた石造物の大半は墓石（墓標）であり、姓名や紀年銘が判読可能なものも一定量見られた。姓名が判読できるものは、過去帳などとの比較から特定の寺との関係性が分かるものがあり、寺の範囲及び墓域を特定する根拠とした（各テラスと寺院の範囲の特定については第●章を参照）。墓石以外には、石灯籠（竿の部分）や石鉢、寺名を示す標柱のほか、鉢山白なども見られた。

本項では、地表面で確認できた石造物の内、数量的に大多数を占める墓石を中心に分布状況とその形式について概観するとともに今後の課題の整理を行う。

2) 墓石の分類

①板石状墓石（A 類）

正面の幅に対して縦長の塔身を持つもので、幅に対して厚さが薄いもの。頂部が平らなものと、尖るものがある。確認数が少なく、紀年名を持つものも少ない。

②角柱状墓石（B 類）

正面の幅に対して塔身の奥行きが同じか、差がないものを角柱形とした。遺跡内で最も多く見られる。頂部の形状や厚さにより 5 種類に分類できる。また、台座（蓮華座）の有無や塔身正面及び側面の額面の彫り込みの有無などさらにいくつかの類型が存在すると思われるが、塔身形状の分類のみにとどめた。

③笠塔婆（C 類）

幅に対して高さが長い長方形の塔身を持ち、別材を笠状に加工して載せたもの。塔身の断面が正方形に近いものと長方形のものがある。宝珠及び笠を欠損したものが多い。塔身の頂部にホゾを持つものと持たずに平らに仕上げるもの、塔身頂部に凹みを付けるものが見られる。確認できたもののほとんどが塔身の正面及び側面に額面の彫り込みを持つ。

④五輪塔（D 類）

確認したのは塔を構成する空風輪（空輪・風輪）・火輪・水輪・地輪がそれぞれ別に作られた組み合わせ式の五輪塔である。地輪に蔵骨のための円形の孔が開けられたものが多い。倒壊したものが大半を占める。各輪に題目もしくは種子を刻むものも見られる。

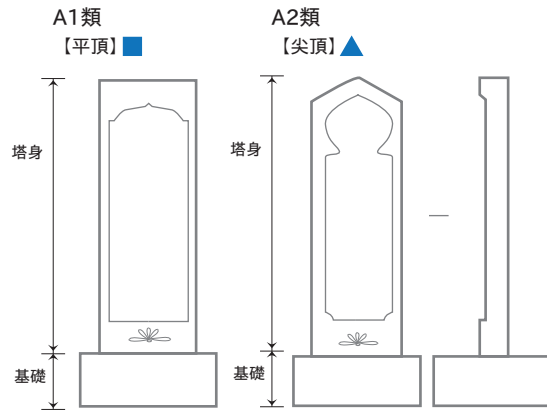
⑤無縫塔（E 類）

僧侶の墓として用いられたもの。塔身は卵形に近いものと円柱状で頂部の丸いものがある。今回確認したものは円柱に近い形状のものが多い。

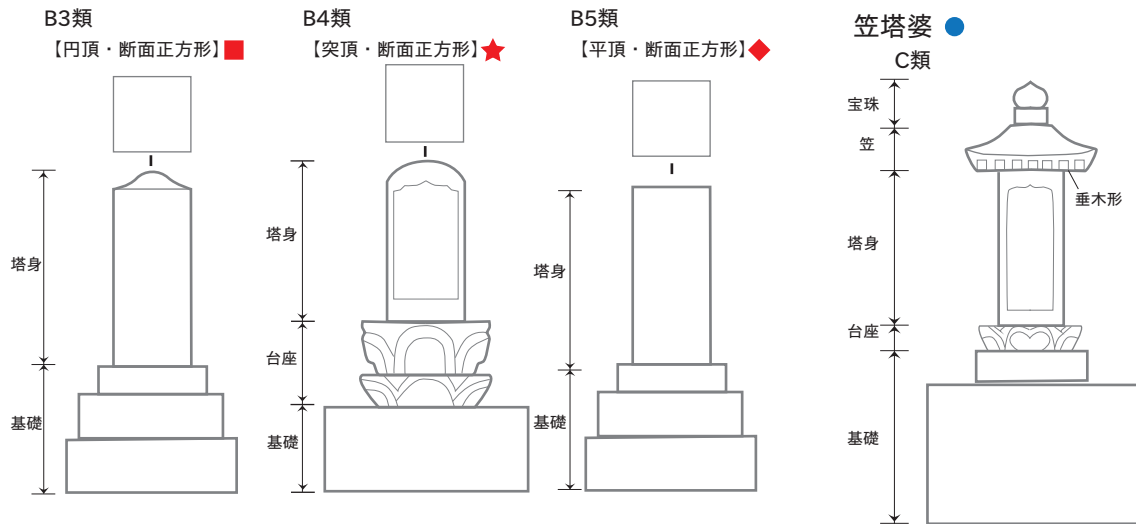
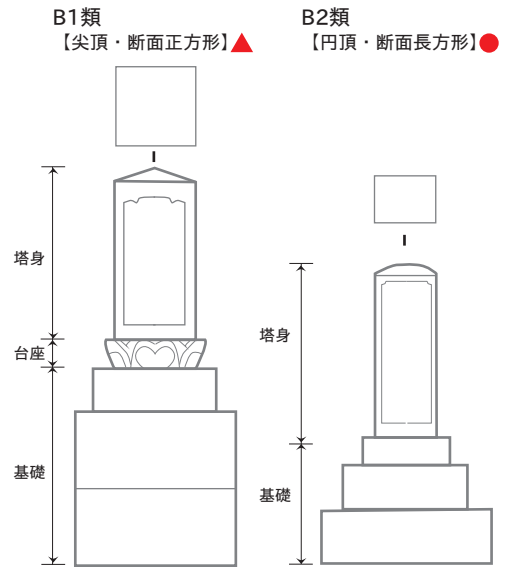
⑥その他（F 類）

確認数は少なく、興禅寺境内で蒲鉾形 1 基と石仏 1 基を確認したのみである。

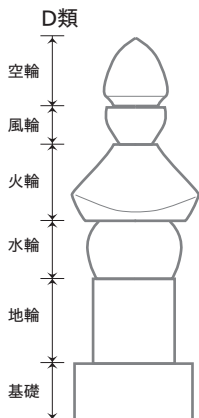
板石形墓石



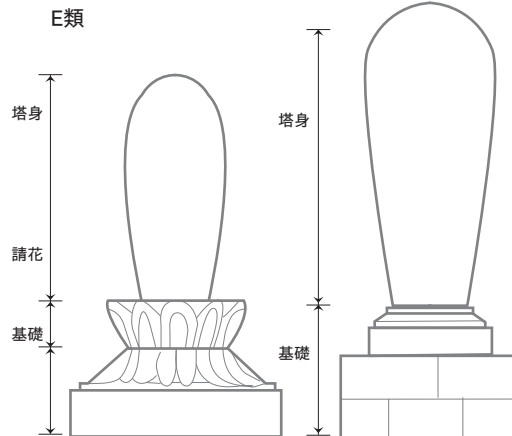
角柱形墓石



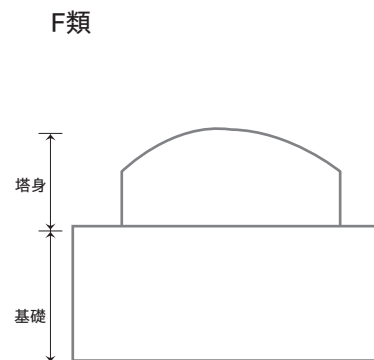
五輪塔 (組み合わせ五輪塔)



無縫塔



その他 (カマボコ形)

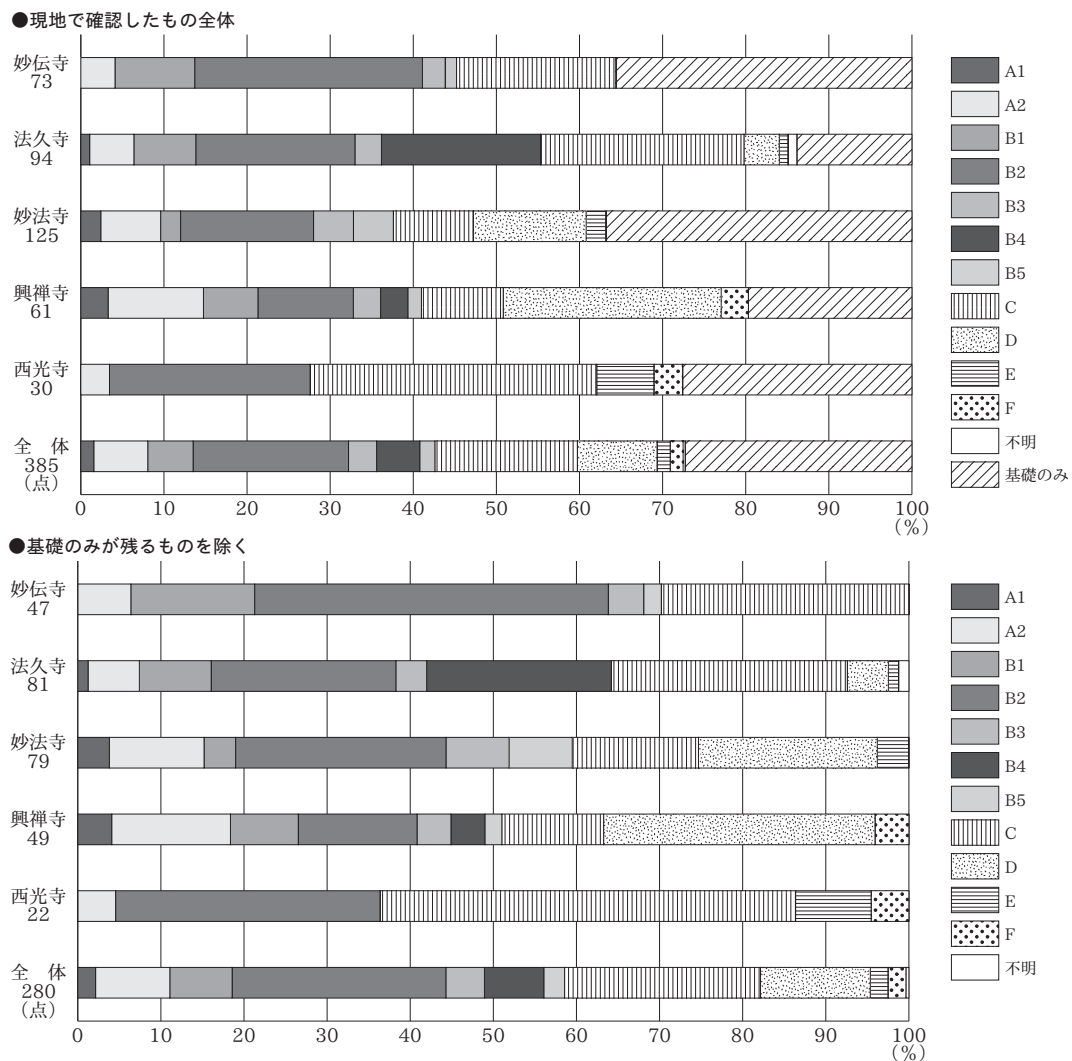


第 4-2-1 図 墓石分類図

3) 寺院別の墓石の分布と形式

今回の調査で確認した墓石の分布状況については図版●に示した。今回調査範囲内では、385 点の墓に関わる石造物を確認した。各寺院における墓石形式毎の構成比率については図●に示した。墓石の数量集計に当たっては、倒伏・散乱したものの組み合わせを判断してカウントする事が本来は望ましいと考えるが、今回は詳細な個体識別による調査・分析に至っていないため、C 類の笠塔婆や D 類五輪塔のように倒壊して散乱した部材も 1 点とカウントしているため数量＝墓の数ではないことをご了承願う。また、「基礎」については、塔身（台座）が載る部分が残存しているものを位置記録の対象とし、基礎を構成する切石材の一部のみが確認できたものは位置のドットを落としていない。

墓石形式の構成比率を見ると、妙法寺・興禅寺で D 類（五輪塔）が目立つほかは、B 類、次いで C 類が多い傾向にある。いずれの寺院においても石造物が完全な形を留めるものは少なく、塔身が倒伏・倒壊しているものがほとんどで、基礎のみが残されているものも目立つ。以下、寺院のテラス毎に配置や特徴をまとめる。



第 4-2-2 図 上寺町地区石造物（墓石）分類形式毎の構成比率

① 妙 伝 寺

テラス 8・9・11・墓域 84 が同寺の主な墓域である。合計 73 点の墓石を確認した。

テラス 8 A2 類 2 基 (46・47) を確認した (写真 1)。紀年銘を持たないため、建立年は不明。いずれも塔身が下方にすぼまる形態を持つ。47 については正面の碑面に年号とみられる「元□□□」の銘が見られるが判読できなかった。

テラス 9 4 つの墓石群が確認できる (図版●)。9-1 群は B2 類と見られる塔身 4 基と C 類の塔身 1 基が確認された。30 は塔身が基礎ごと倒伏した状態で確認された (写真 2)。紀年銘を確認できなかったので建立年は不明である。9-2 群は基礎 2 基と享保 6 (1721) 年の紀年銘を持つ B2 類の 33 がある。9-3 群は B2 類の墓石と基礎 2 基が直線状の配置をとる。建立年は不明である。9-4 群は 9-3 群の墓石列南側に平行する。今回の調査において最古期の紀年銘となる元禄 7 (1694) 年・元禄 16 (1703) 年の紀年銘を持つ C 類の笠塔婆 38 (写真 3・4) が確認された。また、B1 類の 42 では文化 9 (1812) 年、40 では文政 6 (1823) 年・天保 9 (1838) 年の紀年銘があり、その他紀年銘は確認できないが B1 類が他にも 2 基確認できる。

テラス 11 「コ」字状に配置された墓石列を確認した。B2 類と C 類が混在する。49 (写真 5) は C 類の笠塔婆であり、文化 9 (1812) 年の紀年銘と「林宇右衛門母」の銘を持つ。73 も C 類で宝暦 6 (1756) 年、64 の B1 類では天保 7 (1824) 年の紀年銘と「張原氏」の銘、C 類の塔身と推定される 65 (写真 6) では「張原氏」の銘が確認できた。以上の点からこの墓石群については林氏と張原氏に関わる墓域と推定される。

墓域 84 4 つの墓石群が確認できる (図版●)。84-1 群は東西に直線状に墓石が配置される。1 は B3 類で「文化 11 (1814)」(写真 7)、3 は C 類で「寛政 4 (1792)」、2 は基礎で「小池氏」、4 の基礎には「松田氏」の銘が見られる (写真 8)。小池氏・松田氏に関わる墓域と推定される。84-2 群は北東-南西軸に直線状に墓石が配置される (写真 9)。基礎のみとなっているものが多いが、6 は B3 類で「天明 3 (1783)・文政元 (1818)」の銘をもつ。倒伏した状態の 12 は B2 類で、「寛政 8 (1796)」の銘をもつ。84-3 群は基礎のみの 14 と C 類の 15・16 であるが、紀年名等は確認できなかった。84-4 群は 84-2 群とほぼ軸を同じくする墓石列で、B1 類 22 では「宝暦 3 (1753)・天保 12 (1841)・安政 4 (1857)」 「小室姓」の銘を持つ (写真 10・11)。B5 類 17 においても「小室氏」の銘を持つことから、この群は小室氏に関連する墓域と推定される。

② 法 久 寺

テラス 20・21・23・24・25 と墓域 85・86 が同寺の主な墓域である。合計 94 点を確認した。C 類が最も多く、B2 類・B4 類がそれに次ぐ。テラス毎に群を形成しており、同一の群で特定の形式がまとまる傾向が認められた。

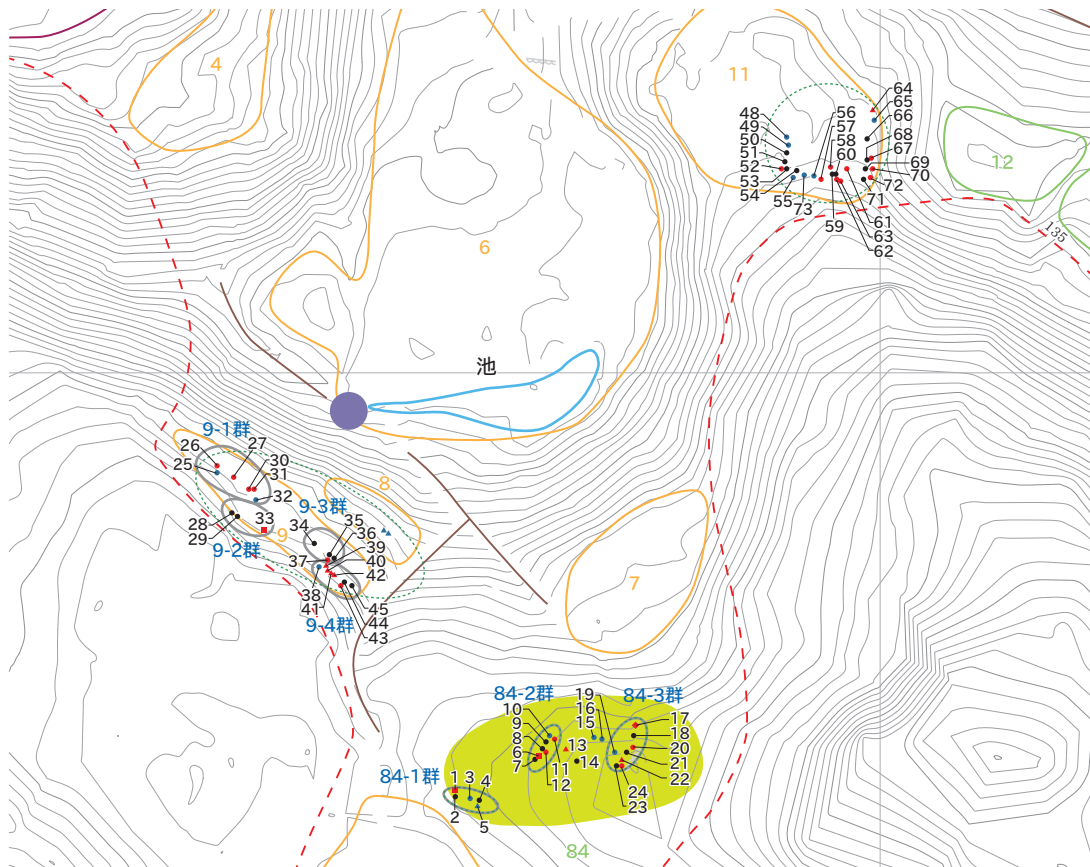
テラス 20 直線上に配置された墓石群を 2 群確認した。20-1 群は B1・2・3 類の墓石が混在するが、137 の「寛政 6 (1794) 年」「瑞明院日口聖人」(写真 12)、136 の「文化 5 (1808)・文化 14 (1817)」 「十四世日藝上人」(写真 13)、134 の「當寺十五世實中院日道聖人」(写真 14) など、僧侶に関わる銘を持つもので占められることから法久寺歴代住職の墓域であると推定される。20-2 群 (写真 15) は B2 類 1 基、C 類 4 基、基礎 2 基が直線状に配置される。姓名の特定につながる銘文は確認できなかったが、紀年銘を

持つものがあり、143「□永□巳→安永8己亥(1779)」、144「丙午→天明6(1786)?」、145「明□□酉→明和2乙酉(1765)」など、C類については18世紀後半にまとまるようである。

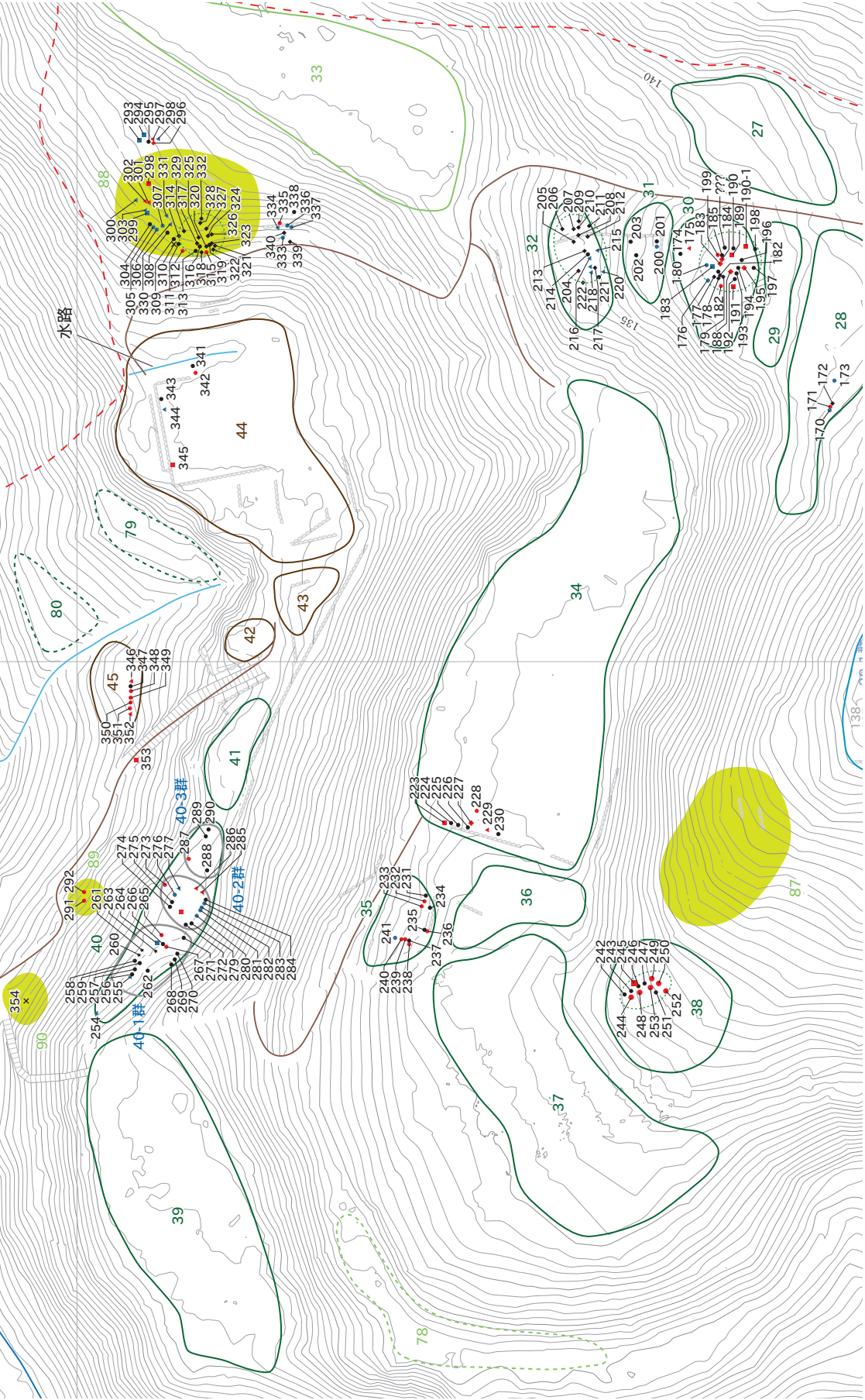
テラス21 2つの群に分けられる。21-1群はB1・2類で、151の「慶応4(1868)・明治7(1874)」中村氏(写真16)、154の「明治3(1870)」など、19世紀後半以降の比較的新しい時期の墓域であると推定される。墓石群すべてが中村氏に関わるものかについては現時点では断定できない。21-2群は、ほぼ完形のE類である159が1基と、D類(155～158が1組)1基からなる(写真17)。159には「開祖妙輝院日貞聖人 中興日蔵聖人」の銘文が見られる(写真18)。法久寺については貞享年間(1684～1688)から元禄10(1697)年頃にかけて本堂と庫裏の再建が行われており、「中興」に関してはこの時期を示すと考えられる。D類については紀年銘を持たないが、妙法寺テラス32のものと同様に17世紀代に遡る可能性がある。

テラス23 約10mの範囲を方形に囲むように石積みし、西側中央に開口部をもつ(写真19)。内部北側に基礎の一部が2基あり、その周辺に破断した墓石塔身の一部が散在する。南側には集積された石材の中に墓石塔身が散見される。半埋没している石材も多いことから、埋没している墓石が他にもあると推測される。165はB1類で「七代目 岩崎茂右衛門」の銘が見られる(写真20)。石積みに囲まれた立地状況から見てこの群は岩崎氏同族の墓域であると推定される。

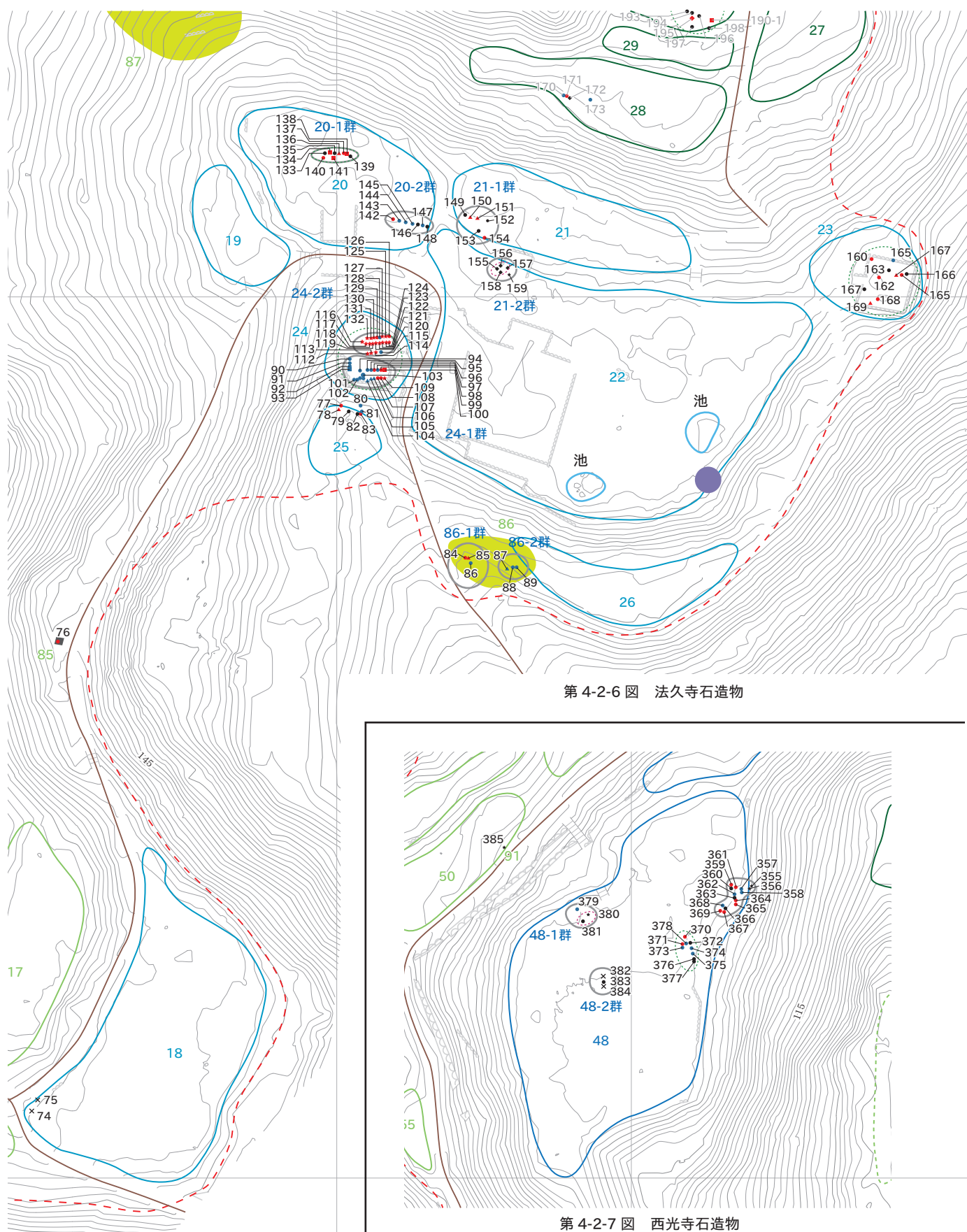
テラス24 整然と列状に配置された墓石群を確認した。配置状況からみてほぼ東西方向に配置列の軸が一致する南側のグループ(24-1群)と若干西側方向に配置軸が傾く北側のグループ(24-2群)に分けることができる。24-1群は東西方向の9～10基からなる2列の墓石列と2列の西側に直交する4基の墓



第4-2-4図 妙伝寺石造物



第 4-2-5 図 妙法寺・興禅寺石造物



第 4-2-6 図 法久寺石造物

第 4-2-7 图 西光寺石造物

石列からなる(写真21)。これらの墓石列の外側、西・南・東側を「コ」字形に囲むように石積みが見られる。C類の笠塔婆を主体とし、紀年銘及び姓名に関する銘文を持つものが非常に多く、紀年銘を持つものでは、C類91の「元禄5(1693)」が最も古く(佐藤家初代治右衛門の墓:写真22)、B3類100の「嘉永5(1852)年」(写真23)、C類98の「天保8(1837)年・明治38(1905)年」(写真24)が下限となる。「宗徳町本家佐藤氏」をはじめ、「佐藤氏」の銘をもつものが多く、この群については佐藤氏同族の墓域と考えられる。一方、24-2群は北から順に8基・8基・4基と平行する東西方向の墓石列がある(写真25)。B2類とB4類が大半を占め、特にB4類については形状・寸法に類似性・規則性がある。次項でも述べるが明治初期に佐藤氏が松榮氏に改姓したのちに改築された墓石が相当数含まれると推測される。紀年銘は127の「享保8(1723)」が最古で(写真26)、下限となる114の明治45(1912)年までのものがある。姓名については「佐藤氏」「松榮氏」「配 谷口氏」や松榮氏の特定の人名も多く見られることから、この群については松榮氏同族の墓域と考えられる。

テラス 25 法久寺基壇の方位とほぼ軸を同じくした基礎2基とその周囲からB1・2類の塔身とC類の笠を確認した。建立年や姓名については不明である。

墓域 85 B2類に分類される76の墓石1基である。2004年の調査[佐渡市教育委員会2004]においても報告している「情死の墓」である(写真27)。享保8(1728)年の紀年銘を持つ。

墓域 86 2～3基からなる2群に分けることができる。86-1群はB2類84の「文政10(1827)」(写真28)とB1類85(写真29)の「文久2(1862)」「川野氏」の銘文を持つ。他にもC類の笠部のみが確認された。この群については川野氏の墓域か。86-2群は基礎ごと倒伏したA1類1基と笠部を欠くC類2基からなる。89については題目「南無妙法蓮華經」が見えるが、建立年・姓名に関する銘文は確認できなかった(写真30)。

③ 妙 法 寺

テラス28・30・31・32・34・35・36・38・40が同寺の主な墓域である。塔身が倒伏しているものが多く、確認した125点の内、約4割近くの46点が基礎のみである。享保6(1721)年の銘を持つ(テラス35-51)ものをはじめB2類が多く、次いでD類(32テラス:五輪塔主体の群)及びC類(テラス40:本間氏?墓域)も目立つ。

テラス28では、C類(170・173)2基とD類(172)1基が確認された。いずれも紀年銘を持たないため建立年は不明である。

テラス 30 「逆コ」字状の配置をとる墓石列を確認した。B5類に分類したものが多くまとまる傾向が認められるが、C類の笠を欠いたものの可能性もある。銘文を持つものでは195の「元文5(1740)年」「施主持田徳右衛門」(写真31)、189の「寛政3(1791)・寛政8(1796)」「十世日榮聖人 十一世日口聖人」(写真32)、191の「寛政5(1793)・寛政8(1796)」「持田氏」(写真33)、199の「文政7(1824)」「持田庄兵衛工口」(写真34)などがある。歴代僧侶の墓域と持田氏同族の墓域が混在していると推定される。

テラス 31 C類1基と基礎を4基確認したが、建立年や関連する人名等は不明である。

テラス 32 D類の五輪塔を主体とする群で、213(写真35)以外、原形を保つものはない。地輪が4基分、火輪が8基分確認できることから8基以上の塔が存在したと推定される。213については正面に題目が刻まれる。また、D類と共にA2類の板石型の墓石(218・216)も散見される。過去の石造物調査の成果(新潟県佐渡市教育委員会2004)から見て、相川周辺の寺院で確認されているA類やD類は17世紀後

半期に比定されるものが多く、この一群については17世紀代に遡る可能性がある。

テラス 34 テラス西端に南北に墓石列が確認できた。223はB3類で享和元(1801)年の紀年銘を持つ(写真36)。229はB1類で天保12(1841)と「内田氏之墓」の銘を持つ(写真37)。銘文及び近接した列状の配置から内田氏同族の墓域と推測される。

テラス 35 「L」字状の配置をとる墓石列を確認した。241はC類の笠塔婆で「正口六」の紀年銘と「伊沢氏」の銘(写真38)、233はB2類で文化12(1815)と天保5(1834)の紀年銘と「伊沢氏後室」の銘を持つ(写真39)。以上の点から伊沢氏同族の墓域であると推測される。

テラス 38 「逆L」字状の配置をとる6基の墓石列を確認した。249はB2類で享和2(1802)・文政元(1818)年の紀年銘と「増山氏」の銘を持つ(写真40)。244も「大工町増山氏」の銘を持つことから見て(写真41)、この墓石列は増山氏同族の墓石群と推測される。

テラス 40 墓石の形態・配置から3つの群を確認できる。40-1群は「逆コ」字状の配置をとるE類の無縫塔を主とする墓石群、40-2群は「逆コ」字状の配置をとるC類を主体とする墓石群、基礎のみのため時期来歴は不明であるが40-3群の墓石群がある。40-1群については「十二世」の銘文を持つ基礎266(写真42)、地藏菩薩立像を陰刻する石塔264(写真43)があり、僧侶に関係した墓域であると推測される。また、40-2群(写真44)については、C類280(写真45)で元文2(1737)、B1類286(写真46)で「元治元(1864)」「邑上氏本妻」の銘を持つ。倒伏しているため原位置を保っていないが、278は「天保10(1839)」「本間氏」の銘があり(写真47)、この群については邑上氏・本間氏に関わる墓域の可能性はある。

墓域 87 法久寺と妙法寺の間の斜面部にあり、明確なテラスは造成していないが、墓石とみられる石材が散在する。形式等を特定するには至らなかった。

墓域 90 テラスは造成していないが、斜面部に小規模な造成を行い、墓石2基を配する。292は「能勢氏」の銘を持つ(写真48)。

④ 興 禅 寺

テラス45、墓域88・89が同寺の墓域と推定される。合計61点を確認した。

テラス 45 ほぼ東西方向に直線状に並ぶ墓石7基を確認した。7基中5基が紀年銘を持ち、1基につき2～4名分の戒名と没年銘が見られる。最古は350の宝永3(1706)で下限は352の明治18(1885)である(写真49・50)。配置状況から同族墓と推定されるが姓名等は確認できなかった。

墓域 88 大きく5つの墓石群が確認できる。18-1群はC類307のほか台座の残る304、基礎が残る308・309・311、B2類312が直線状に並ぶ。307の南側に寄せ集められたような状態で集積されたA2類の330・331が確認されており、308・309・311のいずれかとセットとなる可能性がある。307の笠塔婆は宝珠を欠くが笠部に垂木形の表現がされる精緻な造りで、「天明2(1782)・寛政8(1796)」の紀年銘と「高木氏内」の銘文を持つ(写真51・52)。18-2群は基礎の位置関係が明確ではないが、A2類、B1・3類の塔身が散在する。18-3群は五輪塔が集中する群で、地輪は4点しか確認できていないものの、火輪が8点あり、少なくとも8基以上が建立されていたと推測される。紀年銘が確認できなかったため建立年塔は不詳であるが、同一形式が集中することから17世紀代に遡る可能性もある。18-4群は寄せ集められたようにA1・2類、B1類、C類が混在する。建立年等の銘文をもつものは確認できていない。18-5群は、A2類334が基礎ごと倒伏した状態、338の基礎が原位置である以外は、C・D類の部材が

散在した状況で混在する。

墓域 89 テラス等の造成は行われておらず、今回調査範囲内では唯一となる蒲鉾形の墓石（354）である。半田銀山に派遣された地役人「倉本氏」の墓碑である旨の銘文が見られる（写真 53）。

⑤ 西 光 寺

テラス 48・墓域 91 に墓石群がある。合計 30 点を確認した。約 3 割が基礎のみである。

テラス 48 配置から 4 つの群に分けることができる。48-1 群は C 類 379 の笠塔婆 1 基と E 類 380・381 の無縫塔 1 基からなる（写真 54）。「當山十三世」「當山二十三世」の銘が見られることから歴代住職の墓と推定される。48-2 群は切石材の集積が見られ、F 類とした石仏 1 点がある。墓域かどうかについては現時点では不詳である（写真 55）。48-3 群は北端の 370 を中心に、南北軸をもつ 2 列の墓石群を確認した（写真 56）。墓石は B2 類と C 類が確認できる。370 は B2 類で、「安政 4（1857）・嘉永 2（1849）」の紀年銘を持つ（写真 57・58）。375 は C 類で「寛政 8（1796）」「前川氏」の紀年銘を持つ（写真 59）。この群については前川氏に関連する墓域か。48-4 群は「逆 L」字形に配置された墓石列を確認した。C 類 362 の 1 基は崩落している 358 の笠部とセットと考えられる。358 笠部に垂木形の彫り込みが表現された精緻な造りを持つ。また、361 は A2 類で、塔身が下部に向かってすぼまる形態を持つ。これら以外には B2 類を主体とする。一方これらの墓石列の東側に単独で E 類 355・356 の無縫塔 1 基がある。

墓域 91 では C 類の塔身 1 基（385）が確認された。「延享元（1744）年」の紀年銘を持つ。正面に「南無阿弥陀佛」の名号と背面に二名の戒名が確認できた。周辺では他に墓石等は確認できない。

4) 紀年銘を持つ墓石に見る墓石形式の変遷観と今後の課題

B・C 類を主として紀年銘を持つものは 88 点確認できた。内 1 点は年号の記載は分かるものの、判読ができなかった。87 点の紀年銘については表●の通りである。

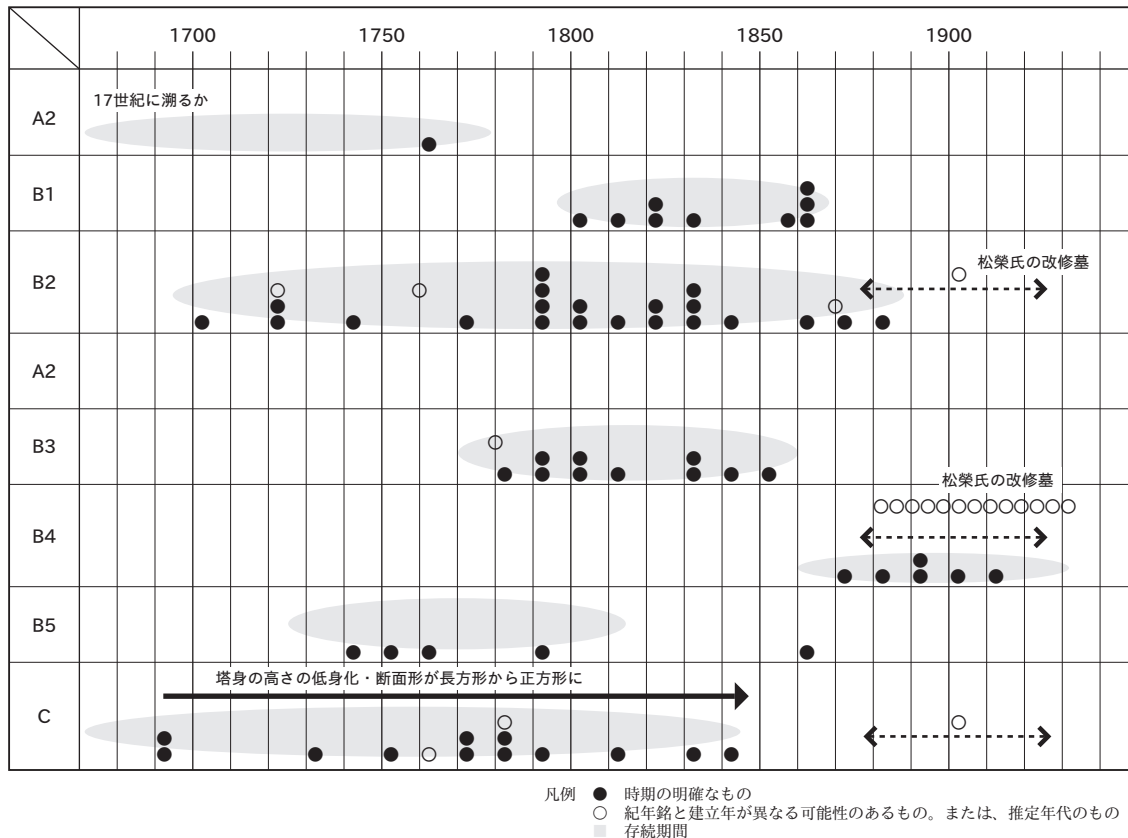
最も古いものは法久寺テラス 24 の C 類笠塔婆（91）の元禄 5（1693）年で、次いで妙伝寺テラス 9 の C 類笠塔婆（38）の元禄 7（1664）と続く。墓石形式の変遷観を図●にまとめた。

A2 類の紀年銘を持つものは、法久寺の 105（写真 60）が宝暦 13（1763）の紀年銘をもち、唯一の事例であるため、銘文を参照して時期の変遷を追うことは難しいが、同じ法久寺の 216・218 のように五輪塔の群に混在するものも見られることから、D 類の時期を 17 世紀に遡る古いものとみた場合、時期的に 17 世紀代の可能性がある。

B1 類の盛期は 19 世紀初め～第Ⅲ四半期頃と推定される。22 については 3 名の戒名と没年の内「宝暦 3（1753）」が最も古い紀年銘となるが、残る 2 名の没年とのタイムラグが 100 年近く生じる。19 世紀半ばの残る 2 名の埋葬の際に改築・合葬されたと考えれば B1 形式の盛期とも合致することから 19 世紀半ばの所産と考えたい（写真 11）。

B2 類は 18 世紀初頭から明治期まで続く形式であるが、本遺跡では、18 世紀末～19 世紀前半に特に数が増加する傾向が見える。形態的には 18 世紀初頭頃の塔身が高さに対して横幅の比率が大きく、時代が下がるにつれて横幅の比率が小さくなる傾向があるようにも見えるが、この点に関しては今後の正確な計測・図化と法量の比較・検討により明らかにしなければならない点である。

B3 類については 18 世紀末から 19 世紀半ば頃に時期的なまとまりが見られる。B2 類とは塔身の断面形状が長方形か正方形かによって区分を行ったが、半埋没状態の表面観察での判断によるものも多いため、



第 4-2-3 図 上寺町地区 紀年銘を持つ墓石の年代

今後の詳細調査による再検討が必要である。

B4 類については、概ね 19 世紀後半（幕末～明治初期）に盛期を持つと推定される。なお、法久寺テラス 8 のグループ（佐藤氏・松榮氏の墓石群）については、18 世紀前半頃の紀年銘を持つものも見られるが、形状や寸法などに規格性や類似性があり、明治初期に佐藤氏が松榮氏に改姓した後、同時期にまとめて改修したものと推測されるため、同形式を採用したと考えられる。

B5 類については類型設定したものの、全体的に事例が少ないこと、C 類の塔身部との判別が困難なものも一部含まれるため、現時点では時期的な変遷を捉えることは困難であるとする。

C 類については、17 世紀後半から 19 世紀半ば頃まで長期間続く。笠部を欠失しているものが多いため、笠部を含めた時期的変化把握することは現時点で難しいが、塔身の形態を概観すると 17 世紀末の 91（写真 61）等では板石状に近い断面長方形の塔身を持つものが 19 世紀半ばの 98（写真 24）などでは断面正方形で塔身が同時期の B 類の塔身の高さ・断面形状と類似したものに变化する。

19 世紀前半の B 類墓石の盛行、C 類の墓石高の変化（高→低）については墓石に関する江戸幕府の政策が大きく関わったと考えられる。大きな施策として 1832（天保 2）の「葬式石碑院号居士等之儀二付御触書」がある。分限に応じた葬式・戒名とすること、墓石・台石を含めた高さを 4 尺以内とする御触れが出された。C 類の消失と B2・3・4 類が盛行する背景には、この御触を契機に造墓の規格が制限され、大きな質的变化が生じたことが影響していると想定される。墓石の実際の法量との比較検討が待たれる。

なお、紀年銘を持たない D 類や E 類については形式変遷について触れていないが、今後戒名や姓名などを基に過去帳などの資史料との比較検討を進め、変遷の概略を把握することも大きな課題である。

2 上寺町地区の石造物

	テラス	宗派	寺名	形式	紀年銘	その他 人名等の墓碑銘（概略）	備 考
91	24	日蓮宗	法久寺	C	元禄 5（1693）	佐藤氏敬白	頂部平形・笠塔婆 佐藤治右衛門の墓
38	9	日蓮宗	妙伝寺	C	元禄 7 甲戌（1694） 元禄 16 癸未（1703）		宝珠を欠く。2 名分の戒名
350	45	臨済宗	興禅寺	B2	宝永 3 戊（1706） 享保 2 酉（1717） 宝暦 3 酉（1753） 天明 6 午（1786）		4 名分の戒名
239	35	日蓮宗	妙法寺	B2	享保 6（1721）		
76	85	日蓮宗	法久寺	B2	享保 8（1728）		2 名の戒名 情死の墓
280	40	日蓮宗	妙法寺	C	元文 2（1737）		
195	30	日蓮宗	妙法寺	B5	元文 5（1740）	施主 持田徳右衛門	
240	35	日蓮宗	妙法寺	B2	寛保 3（1743）		
385	48	浄土宗	西光寺	C	延享元（1744）	南無阿弥陀仏	笠なし 2 名分の戒名
22	84	日蓮宗	妙伝寺	B1	宝暦 3（1753） 天保 12（1841） 安政 4 巳（1857）	小室姓	3 名分の戒名 19 世紀に入ってから改修墓？
73	11	日蓮宗	妙伝寺	C	宝暦 6 丙子（1756）		
184	30	日蓮宗	妙法寺	B5	宝暦 9（1759）		1 名の戒名
105	24	日蓮宗	法久寺	A2	宝暦 13（1763）		
185	30	日蓮宗	妙法寺	B5	明和 4（1767）		2 名の戒名
95	24	日蓮宗	法久寺	C	明和 9（1772）		宝珠を欠く
349	45	臨済宗	興禅寺	B2	安永 5 申（1776） 安永 7 戌（1778） 文化 7 午（1810） 文政 2 卯（1819）		4 名分の戒名
143	20	日蓮宗	法久寺	C	□永□ 巳 安永 8 己亥 （1779）		宝珠を欠く 2 名の戒名
307	88	臨済宗	興禅寺	C	天明 2 壬寅（1782） 寛政 8 辰（1796）	高木氏 内	台座あり。宝珠を欠く。2 名分の戒名
6	84	日蓮宗	妙伝寺	B3	天明 3（1783） 文政元（1818）		2 名分の戒名
96	24	日蓮宗	法久寺	C	寛政元（1789） 天保 5（1834）	宗徳町本家佐藤氏	2 名分の戒名 宝珠を欠く
189	30	日蓮宗	妙法寺	B3	寛政 3（1791） 寛政 8（1796）	十世日榮聖人 十一世日□聖人	2 名の戒名
3	84	日蓮宗	妙伝寺	C	寛政 4 壬子（1792）		笠を欠く？台座あり。2 名の戒名
191	30	日蓮宗	妙法寺	B3	寛政 5（1793） 寛政 8（1796）	持田氏	8 名の戒名
137	20	日蓮宗	法久寺	B2	寛政 6（1794）	瑞明院日□聖人	
232	35	日蓮宗	妙法寺	B2	寛政 6（1794） 文化 10（1813）		
188	30	日蓮宗	妙法寺	B5	寛政 8（1796）		
375	48	浄土宗	西光寺	C	寛政 8（1796）	前川氏	宝珠を欠く
12	84	日蓮宗	妙伝寺	B2 ?	寛政 8 辰（1796）		
97	24	日蓮宗	法久寺	B2	寛政 10（1798）	佐藤氏	
223	34	日蓮宗	妙法寺	B3	享和元（1801）		
249	38	日蓮宗	妙法寺	B2	享和 2（1802） 文政元（1818）	増山氏	2 名分の戒名
99	24	日蓮宗	法久寺	B2	享和 3（1803）	佐藤氏	
190.1	30	日蓮宗	妙法寺	B3	文化元（1804）	當寺十二世	
136	20	日蓮宗	法久寺	B1	文化 5（1808） 文化 14（1817）	十四世日藝上人	
42	9	日蓮宗	妙伝寺	B1	文化 9（1812）		2 名分の戒名
49	11	日蓮宗	妙伝寺	C	文化 9（1812）	林宇右衛門母	台座を持つ。
1	84	日蓮宗	妙伝寺	B3	文化 11 甲戌（1814）	妙法□真院妙要日修	
233	35	日蓮宗	妙法寺	B2	文化 12（1815） 天保 5（1834）	伊沢十代目後室	
40	9	日蓮宗	妙伝寺	B1	文政 6（1823） 天保 9（1838）		2 名分の戒名
64	11	日蓮宗	妙伝寺	B1	天保 7 申（1824）	張原氏	台座を持つ。
199	30	日蓮宗	妙法寺	B2	文政 7（1824） 安政（1859）	持田庄兵衛 同 荀子	3 名の戒名
84	86	日蓮宗	法久寺	B2	文政 10（1827）		

第 4-2-1 表 上寺町地区紀年銘のある墓石一覧（1）

	テラス	宗派	寺名	形式	紀年銘	その他 人名等の墓碑銘（概略）	備 考
245	38	日蓮宗	妙法寺	B3	天□三壬辰年 天保3（1832）		
253	38	日蓮宗	妙法寺	B2	天保3壬辰（1832）		
98	24	日蓮宗	法久寺	C	天保8（1837） 明治38（1905）		宝珠・笠を欠く
278	40	日蓮宗	妙法寺	B3	天保10（1839）	本間氏	
236	35	日蓮宗	妙法寺	B2	天保11（1840）		
229	34	日蓮宗	妙法寺	B1	天保12（1841）	内田氏之墓 郡右衛門因親	
348	45	臨済宗	興禪寺	B2	天保13壬寅(1842) 嘉永6丑（1853）		2名分の戒名
134	20	日蓮宗	法久寺	B3	弘化3（1846）	當寺十五世實中院日道聖人	
115	24	日蓮宗	法久寺	C	弘化3（1846） 嘉永6（1853）	當家十一代 経則□□	
273	40	日蓮宗	妙法寺	B2	弘化4（1847）		
100	24	日蓮宗	法久寺	B3	嘉永5（1852）		
370	48	浄土宗	西光寺	B2	安政4（1857） 嘉永2（1849）	前川氏	2名分の戒名。台座あり。
17	84	日蓮宗	妙伝寺	B5	万延元申（1860）	小室氏	2名分の戒名
85	86	日蓮宗	法久寺	B1	文久2（1862）	妙法 真淨 童子 川野氏	
108	24	日蓮宗	法久寺	B2	文久3（1863）	佐藤宗助墓	
286	40	日蓮宗	妙法寺	B1	元治元（1864）	邑上氏本妻	
151	21	日蓮宗	法久寺	B1	慶応4（1868） 明治7（1874） 明治13（1880）	中村氏	3名分の戒名
154	21	日蓮宗	法久寺	B2	明治3（1870）		
352	45	臨済宗	興禪寺	B4	明治11寅（1878） 明□□□□□ 明治18（1885）		3名分の戒名
351	45	臨済宗	興禪寺	B2	明治18酉（1885） 明治元戊辰（1868）	六代目	2名分の戒名
113	24	日蓮宗	法久寺	B4	明治20（1887） 明治30（1897）	九代目松榮治郎兵衛 配 時岡銀子	
124	24	日蓮宗	法久寺	B4	明治23（1890）	松榮	
125	24	日蓮宗	法久寺	B4	明治28（1895） 明治34（1901）	松治作・・・碑文あり。	2名の戒名 松榮姓の初代
109	24	日蓮宗	法久寺	B4	明治39（1906）		2名の戒名
114	24	日蓮宗	法久寺	B4	明治45（1912）	昭和20年 11代松榮治作	
241	35	日蓮宗	妙法寺	C	正□六	伊沢氏	
33	9	日蓮宗	妙伝寺	B2	享保6（1721）？		塔身の高さ低い。2名分の戒名
129	24	日蓮宗	法久寺	B2	宝暦□年（1751～64）	佐藤	1名の戒名（幼児）
145	20	日蓮宗	法久寺	C	明□□西？ 明和2（1765）？		宝珠を欠く 2名の戒名
141	20	日蓮宗	法久寺	B3	安永□？ 寛政元（1789）	十一世 十二世	
144	20	日蓮宗	法久寺	C	丙午 天明6（1786）？		宝珠を欠く 2名の戒名
107	24	日蓮宗	法久寺	B2	文政年中建之 （1818～29）	童男童女墓 本家佐藤氏	
117	24	日蓮宗	法久寺	B4	安永7（1778） 天明6（1786）	4代目松榮喜重 配 永田氏	2名の戒名
122	24	日蓮宗	法久寺	B4	安政3（1856）	八代目松榮佑□衛門□	1名の戒名 側面にもう1名の戒名と紀年
130	24	日蓮宗	法久寺	B4	享保13（1728） 享保18（1733）	有故為當家元祖 松榮治右衛門 配 佐藤氏	2名の戒名
127	24	日蓮宗	法久寺	B4	享保8（1723）	改為二代目 松榮□□	3名の戒名
123	24	日蓮宗	法久寺	B4	天保13（1842）		
112	24	日蓮宗	法久寺	B4	天保3（1832）	配 谷口氏	
120	24	日蓮宗	法久寺	B4	文政11（1828） 嘉永	十代目松榮□□	2名の戒名
121	24	日蓮宗	法久寺	B4	文政11（1828） 嘉永2（1849） 文久3（1863）	十代目松榮□□ 深入院 松榮泰藏 深智院 松榮□□	3名の戒名
116	24	日蓮宗	法久寺	B4	延享2（1745） 宝暦9（1759）	當家元祖有故為三代松榮佐次右 衛門喜勝 配大嶋氏	2名の戒名

第4-2-1表 上寺町地区紀年銘のある墓石一覧（2）

2 上寺町地区の石造物

	テラス	宗派	寺名	形式	紀年銘	その他 人名等の墓碑銘(概略)	備 考
118	24	日蓮宗	法久寺	B4	寛政元(1789)		1名の戒名
119	24	日蓮宗	法久寺	B4	天明7(1787)	配 佐藤氏	2名の戒名
132	24	日蓮宗	法久寺	B4	天明7(1787) 寛政4(1792)		2名の戒名(幼年者)
131	24	日蓮宗	法久寺	B4	元文2(1737) 延享2(1745)?	六代目佐藤□□□□ 配 佐藤氏	2名の戒名
104	24	日蓮宗	法久寺	A2	享□□年		

第4-2-1表 上寺町地区紀年銘のある墓石一覧(3)

	テラス	宗派	寺名	形式	紀年銘	その他 人名等の墓碑銘(概略)	備 考
1	84	日蓮宗	妙伝寺	B3	文化11甲戌(1814)	妙法□真院妙要日修	
2	84	日蓮宗	妙伝寺	基礎		小池氏	
3	84	日蓮宗	妙伝寺	C	寛政4壬子(1792)		笠を欠く?台座あり。2名の戒名
4	84	日蓮宗	妙伝寺	基礎		松田氏	
5	84	日蓮宗	妙伝寺	A2			
6	84	日蓮宗	妙伝寺	B3	天明3(1783) 文政元(1818)		2名分の戒名
7	84	日蓮宗	妙伝寺	基礎			
8	84	日蓮宗	妙伝寺	基礎			
9	84	日蓮宗	妙伝寺	C			
10	84	日蓮宗	妙伝寺	基礎			
11	84	日蓮宗	妙伝寺	B2?			2名分の戒名
12	84	日蓮宗	妙伝寺	B2?	寛政8辰(1796)		
13	84	日蓮宗	妙伝寺	B1		要立院日宣聖人	
14	84	日蓮宗	妙伝寺	基礎			
15	84	日蓮宗	妙伝寺	C			
16	84	日蓮宗	妙伝寺	C			
17	84	日蓮宗	妙伝寺	B5	万延元申(1860)	小室氏	2名分の戒名
18	84	日蓮宗	妙伝寺	基礎			
19	84	日蓮宗	妙伝寺	C			
20	84	日蓮宗	妙伝寺	B2?			
21	84	日蓮宗	妙伝寺	基礎			
22	84	日蓮宗	妙伝寺	B1	宝暦3(1753) 天保12(1841) 安政4巳(1857)	小室姓	3名分の戒名 19世紀に入ってから改修墓?
23	84	日蓮宗	妙伝寺	基礎			
24	84	日蓮宗	妙伝寺	B2			
25	9	日蓮宗	妙伝寺	C?			
26	9	日蓮宗	妙伝寺	B2?			
27	9	日蓮宗	妙伝寺	B2?			
28	9	日蓮宗	妙伝寺	基礎			
29	9	日蓮宗	妙伝寺	基礎			
30	9	日蓮宗	妙伝寺	B2?			
31	9	日蓮宗	妙伝寺	B2?			
32	9	日蓮宗	妙伝寺	C			
33	9	日蓮宗	妙伝寺	B2	享保6(1721)?		塔身の高さ低い。2名分の戒名
34	9	日蓮宗	妙伝寺	基礎			
35	9	日蓮宗	妙伝寺	基礎			
36	9	日蓮宗	妙伝寺	基礎			
37	9	日蓮宗	妙伝寺	B2			2名分の戒名
38	9	日蓮宗	妙伝寺	C	元禄7甲戌(1694) 元禄16癸未(1703)		宝珠を欠く。2名分の戒名
39		日蓮宗	妙伝寺	B1			
40	9	日蓮宗	妙伝寺	B1	文政6(1823) 天保9(1838)		2名分の戒名
41	9	日蓮宗	妙伝寺	B1			2名分の戒名
42	9	日蓮宗	妙伝寺	B1	文化9(1812)		2名分の戒名
43	9	日蓮宗	妙伝寺	B2			埋没

第4-2-2表 上寺町地区石造物一覧(1)

	テラス	宗派	寺名	形式	紀年銘	その他 人名等の墓碑銘(概略)	備 考
44	9	日蓮宗	妙伝寺	基礎			
45	9	日蓮宗	妙伝寺	基礎			
46	8	日蓮宗	妙伝寺	A2			板碑型
47	8	日蓮宗	妙伝寺	A2			板碑型
48	11	日蓮宗	妙伝寺	C			
49	11	日蓮宗	妙伝寺	C	文化 9 (1812)	林宇右衛門母	台座を持つ。
50	11	日蓮宗	妙伝寺	基礎			
51	11	日蓮宗	妙伝寺	基礎			
52	11	日蓮宗	妙伝寺	B2			
53	11	日蓮宗	妙伝寺	基礎			
54	11	日蓮宗	妙伝寺	基礎			
55	11	日蓮宗	妙伝寺	C			
56	11	日蓮宗	妙伝寺	C			
57	11	日蓮宗	妙伝寺	B2			
58	11	日蓮宗	妙伝寺	B2			
59	11	日蓮宗	妙伝寺	基礎			
60	11	日蓮宗	妙伝寺	基礎			
61	11	日蓮宗	妙伝寺	B2			
62	11	日蓮宗	妙伝寺	B2			
63	11	日蓮宗	妙伝寺	B2			
64	11	日蓮宗	妙伝寺	B1	天保 7 申 (1824)	張原氏	台座を持つ。
65	11	日蓮宗	妙伝寺	C ?		張原氏	
66	11	日蓮宗	妙伝寺	基礎			
67	11	日蓮宗	妙伝寺	B2 ?			
68	11	日蓮宗	妙伝寺	基礎			
69	11	日蓮宗	妙伝寺	基礎			
70	11	日蓮宗	妙伝寺	B2 ?			
71	11	日蓮宗	妙伝寺	基礎			
72	11	日蓮宗	妙伝寺	B2		永壽院妙昌日喜	
73	11	日蓮宗	妙伝寺	C	宝暦 6 丙子 (1756)		
74		日蓮宗	法久寺	F			寺碑
75		日蓮宗	法久寺	F			寺碑
76	85	日蓮宗	法久寺	B 2	享保 8 (1728)		2 名の戒名 情死の墓
77	25	日蓮宗	法久寺	B2			
78	25	日蓮宗	法久寺	B1			
79	25	日蓮宗	法久寺	基礎			
80	25	日蓮宗	法久寺	C			
81	25	日蓮宗	法久寺	A2 ?			
82	25	日蓮宗	法久寺	基礎			
83	25	日蓮宗	法久寺	B2			
84	86	日蓮宗	法久寺	B2	文政 10 (1827)		
85	86	日蓮宗	法久寺	B1	文久 2 (1862)	妙法 真浄 童子 川野氏	
86	86	日蓮宗	法久寺	C			笠部
87	86	日蓮宗	法久寺	A1			
88	86	日蓮宗	法久寺	C			笠を欠く
89	86	日蓮宗	法久寺	C		南無妙法蓮華經	笠を欠く
90	24	日蓮宗	法久寺	C		施主 佐藤氏	頂部平形・笠塔婆
91	24	日蓮宗	法久寺	C	元禄 5 (1693)	佐藤氏敬白	頂部平形・笠塔婆 佐藤治右衛門の墓
92	24	日蓮宗	法久寺	C			宝珠を欠く
93	24	日蓮宗	法久寺	C			宝珠・笠を欠く
94	24	日蓮宗	法久寺	C			宝珠はなし
95	24	日蓮宗	法久寺	C	明和 9 (1772)		宝珠を欠く
96	24	日蓮宗	法久寺	C	寛政元 (1789) 天保 5 (1834)	宗徳町本家佐藤氏	2 名分の戒名 宝珠を欠く
97	24	日蓮宗	法久寺	B2	寛政 10 (1798)	佐藤氏	
98	24	日蓮宗	法久寺	C	天保 8 (1837) 明治 38 (1905)		宝珠・笠を欠く
99	24	日蓮宗	法久寺	B2	享和 3 (1803)	佐藤氏	

第 4-2-2 表 上寺町地区石造物一覧 (2)

2 上寺町地区の石造物

	テラス	宗派	寺名	形式	紀年銘	その他 人名等の墓碑銘(概略)	備 考
100	24	日蓮宗	法久寺	B3	嘉永 5 (1852)		
101	24	日蓮宗	法久寺	C			宝珠を欠く
102	24	日蓮宗	法久寺	C			宝珠を欠く
103	24	日蓮宗	法久寺	C		妙法	
104	24	日蓮宗	法久寺	A2	享□□年		
105	24	日蓮宗	法久寺	A2	宝暦 13 (1763)		
106	24	日蓮宗	法久寺	A2		妙法	
107	24	日蓮宗	法久寺	B2	文政年中建之 (1818 ~ 29)	童男童女墓 本家佐藤氏	
108	24	日蓮宗	法久寺	B2	文久 3 (1863)	佐藤宗助墓	
109	24	日蓮宗	法久寺	B4	明治 39 (1906)		2 名の戒名
110	24	日蓮宗	法久寺	C		妙法	
111	24	日蓮宗	法久寺	A2		妙法	
112	24	日蓮宗	法久寺	B4	天保 3 (1832)	配 谷口氏	
113	24	日蓮宗	法久寺	B4	明治 20 (1887) 明治 30 (1897)	九代目松榮治郎兵衛 配 時岡銀子	
114	24	日蓮宗	法久寺	B4	明治 45 (1912)	昭和 20 年 11 代松榮治作	
115	24	日蓮宗	法久寺	C	弘化 3 (1846) 嘉永 6 (1853)	當家十一代 経則□□	
116	24	日蓮宗	法久寺	B4	延享 2 (1745) 宝暦 9 (1759)	當家元祖有故為三代松榮佐次右 衛門喜勝 配大嶋氏	2 名の戒名
117	24	日蓮宗	法久寺	B4	安永 7 (1778) 天明 6 (1786)	4 代目松榮喜重 配 永田氏	2 名の戒名
118	24	日蓮宗	法久寺	B4	寛政元 (1789)		1 名の戒名
119	24	日蓮宗	法久寺	B4	天明 7 (1787)	配 佐藤氏	2 名の戒名
120	24	日蓮宗	法久寺	B4	文政 11 (1828) 嘉永	十代目松榮□□	2 名の戒名
121	24	日蓮宗	法久寺	B4	文政 11 (1828) 嘉永 2 (1849) 文久 3 (1863)	十代目松榮□□ 深入院 松榮泰蔵 深智院 松榮□□	3 名の戒名
122	24	日蓮宗	法久寺	B4	安政 3 (1856)	八代目松榮佑□衛門□	1 名の戒名 側面にもう 1 名の戒名と紀年
123	24	日蓮宗	法久寺	B4	天保 13 (1842)		
124	24	日蓮宗	法久寺	B4	明治 23 (1890)	松榮	
125	24	日蓮宗	法久寺	B4	明治 28 (1895) 明治 34 (1901)	松治作・・・碑文あり。	2 名の戒名 松榮姓の初代
126	24	日蓮宗	法久寺	B2		松榮氏建立	縁故者村上氏の墓
127	24	日蓮宗	法久寺	B4	享保 8 (1723)	改為二代目 松榮□□	3 名の戒名
128	24	日蓮宗	法久寺	C		佐藤 松榮	1 名の戒名 (幼児)
129	24	日蓮宗	法久寺	B2	宝暦□年 (1751 ~ 64)	佐藤	1 名の戒名 (幼児)
130	24	日蓮宗	法久寺	B4	享保 13 (1728) 享保 18 (1733)	有故為當家元祖 松榮治右衛門 配 佐藤氏	2 名の戒名
131	24	日蓮宗	法久寺	B4	元文 2 (1737) 延享 2 (1745) ?	六代目佐藤□□□□ 配 佐藤氏	2 名の戒名
132	24	日蓮宗	法久寺	B4	天明 7 (1787) 寛政 4 (1792)		2 名の戒名 (幼年者)
133	20	日蓮宗	法久寺	基礎			
134	20	日蓮宗	法久寺	B3	弘化 3 (1846)	當寺十五世實中院日道聖人	
135	20	日蓮宗	法久寺	基礎			
136	20	日蓮宗	法久寺	B1	文化 5 (1808) 文化 14 (1817)	十四世日藝上人	
137	20	日蓮宗	法久寺	B2	寛政 6 (1794)	瑞明院日□聖人	
138	20	日蓮宗	法久寺	B2		十七世	
139	20	日蓮宗	法久寺	基礎			
140	20	日蓮宗	法久寺	B2			
141	20	日蓮宗	法久寺	B3	安永□? 寛政元 (1789)	十一世 十二世	
142	20	日蓮宗	法久寺	B2		妙法□□院	
143	20	日蓮宗	法久寺	C	□永□ 巳 安永八 己亥 (1779)		宝珠を欠く 2 名の戒名

第 4-2-2 表 上寺町地区石造物一覧 (3)

	テラス	宗派	寺名	形式	紀年銘	その他 人名等の墓碑銘(概略)	備考
144	20	日蓮宗	法久寺	C	丙午 天明6 (1786) ?		宝珠を欠く 2名の戒名
145	20	日蓮宗	法久寺	C	明□□酉? 明和2 (1765) ?		宝珠を欠く 2名の戒名
146	20	日蓮宗	法久寺	基礎			
147	20	日蓮宗	法久寺	C			宝珠を欠く 2名の戒名
148	20	日蓮宗	法久寺	基礎			
149	21	日蓮宗	法久寺	基礎			
150	21	日蓮宗	法久寺	B ?			塔身上部を欠損
151	21	日蓮宗	法久寺	B1	慶応4 (1868) 明治7 (1874) 明治13 (1880)	中村氏	3名分の戒名
152	21	日蓮宗	法久寺	基礎			
153	21	日蓮宗	法久寺	基礎			
154	21	日蓮宗	法久寺	B2	明治3 (1870)		
155	21	日蓮宗	法久寺	D			
156	21	日蓮宗	法久寺	D			
157	21	日蓮宗	法久寺	D			
158	21	日蓮宗	法久寺	D			
159	21	日蓮宗	法久寺	E		開祖妙輝院日貞聖人 中興日藏聖人 二祖日行聖人	
160	23	日蓮宗	法久寺	B2			
161	23	日蓮宗	法久寺	C			
162	23	日蓮宗	法久寺	B2			
163	23	日蓮宗	法久寺	基礎			
164	23	日蓮宗	法久寺	B1			
165	23	日蓮宗	法久寺	B1		七代目 岩崎茂右衛門	
166	23	日蓮宗	法久寺	基礎			
167	23	日蓮宗	法久寺	基礎			
168	23	日蓮宗	法久寺	B2			
169	23	日蓮宗	法久寺	B1			
170	28	日蓮宗	妙法寺	C			宝珠を欠く
171	28	日蓮宗	妙法寺	C			塔身上部を欠く
172	28	日蓮宗	妙法寺	D			空輪を欠く
173	28	日蓮宗	妙法寺	C			笠を欠く。塔身上部にほぞ。
174	30	日蓮宗	妙法寺	基礎			
175	30	日蓮宗	妙法寺	B1			
176	30	日蓮宗	妙法寺	C			
177	30	日蓮宗	妙法寺	D			
178	30	日蓮宗	妙法寺	D			
179	30	日蓮宗	妙法寺	D			
180	30	日蓮宗	妙法寺	C			7とセット?
181	30	日蓮宗	妙法寺	D			
182	30	日蓮宗	妙法寺	B2 ?			
183	30	日蓮宗	妙法寺	A1			
184	30	日蓮宗	妙法寺	B5	宝暦9 (1759)		1名の戒名
185	30	日蓮宗	妙法寺	B5	明和4 (1767)		2名の戒名
186	30	日蓮宗	妙法寺	基礎			
187	30	日蓮宗	妙法寺	基礎			
188	30	日蓮宗	妙法寺	B5	寛政8 (1796)		
189	30	日蓮宗	妙法寺	B3	寛政3 (1791) 寛政8 (1796)	十世日榮聖人 十一世日口聖人	2名の戒名
190	30	日蓮宗	妙法寺	基礎			
190.1	30	日蓮宗	妙法寺	B3	文化元 (1804)	當寺十二世	
191	30	日蓮宗	妙法寺	B3	寛政5 (1793) 寛政8 (1796)	持田氏	8名の戒名
192	30	日蓮宗	妙法寺	基礎			
193	30	日蓮宗	妙法寺	基礎			
194	30	日蓮宗	妙法寺	基礎			
195	30	日蓮宗	妙法寺	B5	元文5 (1740)	施主 持田徳右衛門	

第4-2-2表 上寺町地区石造物一覧(4)

2 上寺町地区の石造物

	テラス	宗派	寺名	形式	紀年銘	その他 人名等の墓碑銘(概略)	備 考
196	30	日蓮宗	妙法寺	基礎			
197	30	日蓮宗	妙法寺	基礎			
198	30	日蓮宗	妙法寺	基礎			
199	30	日蓮宗	妙法寺	B2	文政 7 (1824) 安政 (1859)	持田庄兵衛 同 荀子	3 名の戒名
200	30	日蓮宗	妙法寺	C			宝珠を欠く
201	30	日蓮宗	妙法寺	基礎			
202	30	日蓮宗	妙法寺	基礎			
203	30	日蓮宗	妙法寺	基礎			
204	32	日蓮宗	妙法寺	D			
205	32	日蓮宗	妙法寺	D			
206	32	日蓮宗	妙法寺	D			
207	32	日蓮宗	妙法寺	D			
208	32	日蓮宗	妙法寺	D			
209	32	日蓮宗	妙法寺	D			
210	32	日蓮宗	妙法寺	D			
211	32	日蓮宗	妙法寺	D			
212	32	日蓮宗	妙法寺	D			
213	32	日蓮宗	妙法寺	D		妙蓮華経	空風輪を欠く
214	32	日蓮宗	妙法寺	基礎			
215	32	日蓮宗	妙法寺	A2 ?			塔身が埋没。
216	32	日蓮宗	妙法寺	A2 ?			
217	32	日蓮宗	妙法寺	D			
218	32	日蓮宗	妙法寺	A2			
219	32	日蓮宗	妙法寺	A2			4-53 と同一
220	32	日蓮宗	妙法寺	A2 ?			A2 か。塔身上部が埋没
221	32	日蓮宗	妙法寺	基礎			
222	32	日蓮宗	妙法寺	D			
223	34	日蓮宗	妙法寺	B3	享和元 (1801)		
224	34	日蓮宗	妙法寺	基礎			
225	34	日蓮宗	妙法寺	基礎			
226	34	日蓮宗	妙法寺	基礎			
227	34	日蓮宗	妙法寺	B5			
228	34	日蓮宗	妙法寺	B2			
229	34	日蓮宗	妙法寺	B1	天保 12 (1841)	内田氏之墓 郡右衛門因親	
230	34	日蓮宗	妙法寺	基礎			
231	35	日蓮宗	妙法寺	基礎			
232	35	日蓮宗	妙法寺	B2	寛政 6 (1794) 文化 10 (1813)		
233	35	日蓮宗	妙法寺	B2	文化 12 (1815) 天保 5 (1834)	伊沢十代目後室	
234	35	日蓮宗	妙法寺	基礎			
235	35	日蓮宗	妙法寺	基礎			
236	35	日蓮宗	妙法寺	B2	天保 11 (1840)		
237	35	日蓮宗	妙法寺	基礎			
238	35	日蓮宗	妙法寺	B2			
239	35	日蓮宗	妙法寺	B2	享保 6 (1721)		
240	35	日蓮宗	妙法寺	B2	寛保 3 (1743)		
241	35	日蓮宗	妙法寺	C	正□六	伊沢氏	
242	38	日蓮宗	妙法寺	基礎			
243	38	日蓮宗	妙法寺	基礎			
244	38	日蓮宗	妙法寺	B2		大工町増山氏	2 名分の戒名
245	38	日蓮宗	妙法寺	B3	天□三壬辰年 天保 3 (1832)		
246	38	日蓮宗	妙法寺	基礎			
247	38	日蓮宗	妙法寺	基礎			
248	38	日蓮宗	妙法寺	B2			
249	38	日蓮宗	妙法寺	B2	享和 2 (1802) 文政元 (1818)	増山氏	2 名分の戒名
250	38	日蓮宗	妙法寺	B2			

第 4-2-2 表 上寺町地区石造物一覧 (5)

	テラス	宗派	寺名	形式	紀年銘	その他 人名等の墓碑銘(概略)	備 考
251	38	日蓮宗	妙法寺	基礎			
252	38	日蓮宗	妙法寺	B2			
253	38	日蓮宗	妙法寺	B2	天保 3 壬辰 (1832)		
254	40	日蓮宗	妙法寺	A2			
255	40	日蓮宗	妙法寺	A2			
256	40	日蓮宗	妙法寺	基礎			
257	40	日蓮宗	妙法寺	基礎			
258	40	日蓮宗	妙法寺	基礎			
259	40	日蓮宗	妙法寺	基礎			
260	40	日蓮宗	妙法寺	E			
261	40	日蓮宗	妙法寺	E			
262	40	日蓮宗	妙法寺	基礎			
263	40	日蓮宗	妙法寺	E			
264	40	日蓮宗	妙法寺	A1		地藏菩薩立像	
265	40	日蓮宗	妙法寺	B2			
266	40	日蓮宗	妙法寺	基礎		「十二世」	
267	40	日蓮宗	妙法寺	B2			
268	40	日蓮宗	妙法寺	基礎			
269	40	日蓮宗	妙法寺	基礎			
270	40	日蓮宗	妙法寺	基礎			
271	40	日蓮宗	妙法寺	基礎			
272	40	日蓮宗	妙法寺	基礎			
273	40	日蓮宗	妙法寺	B2	弘化 4 (1847)		
274	40	日蓮宗	妙法寺	基礎			
275	40	日蓮宗	妙法寺	基礎			
276	40	日蓮宗	妙法寺	C			
277	40	日蓮宗	妙法寺	A2			
278	40	日蓮宗	妙法寺	B3	天保 10 (1839)	本間氏	
279	40	日蓮宗	妙法寺	基礎			
280	40	日蓮宗	妙法寺	C	元文 2 (1737)		
281	40	日蓮宗	妙法寺	C			
282	40	日蓮宗	妙法寺	C			
283	40	日蓮宗	妙法寺	C			
284	40	日蓮宗	妙法寺	基礎			
285	40	日蓮宗	妙法寺	A1			
286	40	日蓮宗	妙法寺	B1	元治元 (1864)	邑上氏本妻	
287	40	日蓮宗	妙法寺	A2			
288	40	日蓮宗	妙法寺	基礎			
289	40	日蓮宗	妙法寺	基礎			
290	40	日蓮宗	妙法寺	基礎			
291		日蓮宗	妙法寺	B2		塔身破損	
292		日蓮宗	妙法寺	B2		能勢氏	
293	88	臨済宗	興禅寺	A1			
294	88	臨済宗	興禅寺	A1			
296	88	臨済宗	興禅寺	B5 ?			
297	88	臨済宗	興禅寺	A2			
298	88	臨済宗	興禅寺	B1			
299	88	臨済宗	興禅寺	B3			
300	88	臨済宗	興禅寺	A2			塔身上部の一部
301	88	臨済宗	興禅寺	B1			
302	88	臨済宗	興禅寺	B1			
303	88	臨済宗	興禅寺	A2			
304	88	臨済宗	興禅寺	基礎			
305	87	臨済宗	興禅寺	C			
306	87	臨済宗	興禅寺	C			
307	88	臨済宗	興禅寺	C	天明 2 壬寅 (1782) 寛政 8 辰 (1796)	高木氏 内	台座あり。宝珠を欠く。2 名分の戒名
308	88	臨済宗	興禅寺	基礎			
309	88	臨済宗	興禅寺	基礎			

第 4-2-2 表 上寺町地区石造物一覧 (6)

2 上寺町地区の石造物

	テラス	宗派	寺名	形式	紀年銘	その他 人名等の墓碑銘(概略)	備 考
310	88	臨済宗	興禪寺	F			
311	88	臨済宗	興禪寺	基礎			
312	88	臨済宗	興禪寺	B2			4名分の戒名
313	87	臨済宗	興禪寺	基礎			
314	88	臨済宗	興禪寺	D			
315	87	臨済宗	興禪寺	B2			
316	87	臨済宗	興禪寺	基礎			
317	88	臨済宗	興禪寺	D			
318	88	臨済宗	興禪寺	D			
319	87	臨済宗	興禪寺	基礎			
320	88	臨済宗	興禪寺	D			
321	88	臨済宗	興禪寺	D			
322	88	臨済宗	興禪寺	D			
323	88	臨済宗	興禪寺	D			
324	88	臨済宗	興禪寺	D			
325	88	臨済宗	興禪寺	D		地	
326	88	臨済宗	興禪寺	D			
327	88	臨済宗	興禪寺	D			
328	87	臨済宗	興禪寺	D			
329	88	臨済宗	興禪寺	D			
330	88	臨済宗	興禪寺	A2			
331	88	臨済宗	興禪寺	A2			額下に蓮華座の陰刻
332	88	臨済宗	興禪寺	D			
333	88	臨済宗	興禪寺	C			笠塔婆?
334	88	臨済宗	興禪寺	A2			
335	88	臨済宗	興禪寺	基礎			
336	88	臨済宗	興禪寺	C			笠塔婆?
337	88	臨済宗	興禪寺	C			笠塔婆?
338	88	臨済宗	興禪寺	基礎			
339	87	臨済宗	興禪寺	D			
340	87	臨済宗	興禪寺	D			
341	44	臨済宗	興禪寺	基礎			
342	44	臨済宗	興禪寺	B2			2名分の戒名
343	44	臨済宗	興禪寺	基礎			
344	44	臨済宗	興禪寺	A2			
345	44	臨済宗	興禪寺	B3			尼僧の墓石?
346	45	臨済宗	興禪寺	B1			
347	45	臨済宗	興禪寺	基礎			
348	45	臨済宗	興禪寺	B2	天保13壬寅(1842) 嘉永6丑(1853)		2名分の戒名
349	45	臨済宗	興禪寺	B2	安永5申(1776) 安永7戌(1778) 文化7午(1810) 文政2卯(1819)		4名分の戒名
350	45	臨済宗	興禪寺	B2	宝永3戌(1706) 享保2酉(1717) 宝暦3酉(1753) 天明6午(1786)		4名分の戒名
351	45	臨済宗	興禪寺	B2	明治18酉(1885) 明治元戊辰(1868)	六代目	2名分の戒名
352	45	臨済宗	興禪寺	B4	明治11寅(1878) 明□□□□□ 明治18(1885)		3名分の戒名
353		臨済宗	興禪寺	B4		嶋田□子建之	
354		臨済宗	興禪寺	F		倉本氏	
355	51	浄土宗	西光寺	基礎			2-4とセット
356	50	浄土宗	西光寺	E			
357	52	浄土宗	西光寺	C			
358	49	浄土宗	西光寺	C			
359	48	浄土宗	西光寺	B2			
360	48	浄土宗	西光寺	基礎			

第4-2-2表 上寺町地区石造物一覧(7)

	テラス	宗派	寺名	形式	紀年銘	その他 人名等の墓碑銘(概略)	備 考
361	48	浄土宗	西光寺	A2			
362	48	浄土宗	西光寺	C			宝珠・笠を欠く
363	48	浄土宗	西光寺	基礎			
364	48	浄土宗	西光寺	B2			
365	48	浄土宗	西光寺	B2			台座あり
366	48	浄土宗	西光寺	基礎			
367	48	浄土宗	西光寺	B2			
368	48	浄土宗	西光寺	C ?			
369	48	浄土宗	西光寺	B2			
370	48	浄土宗	西光寺	B2	安政 4 (1857) 嘉永 2 (1849)	前川氏	2 名分の戒名。台座あり。
371	48	浄土宗	西光寺	B2			台座あり。
372	48	浄土宗	西光寺	基礎			
373	48	浄土宗	西光寺	C			
374	48	浄土宗	西光寺	C			宝珠を欠く
375	48	浄土宗	西光寺	C	寛政 8 (1796)	前川氏	宝珠を欠く
376	48	浄土宗	西光寺	基礎			
377	48	浄土宗	西光寺	基礎			
378	48	浄土宗	西光寺	C			
379	48	浄土宗	西光寺	C		當山 13 世 三界萬霊 悠譽上人	宝珠を欠く
380	48	浄土宗	西光寺	E		當山 23 世 法譽上人	
381	48	浄土宗	西光寺	基礎		3 とセット	
382	48	浄土宗	西光寺	F			
383	48	浄土宗	西光寺	C			
384	48	浄土宗	西光寺	F		胴部のみ。頭部を欠く。	
385	48	浄土宗	西光寺	C	延享元 (1744)	南無阿弥陀仏	笠なし 2 名分の戒名

第 4-2-2 表 上寺町地区石造物一覧 (8)